

栃木県充電インフラビジョンの策定について

資料 2 - 2

2050年とちぎカーボンニュートラルロードマップに掲げた、EV急速充電器の目標達成（2030年・500基）に向けて、その整備方針を示すため、「栃木県充電インフラビジョン」を新たに策定

趣旨

- 2050年カーボンニュートラルに向けては、走行時にCO₂を排出しない、EVへの転換とその基盤となるインフラの充実が必要である。
- このため、県内における充電インフラの整備の方向性を示す、新たなインフラビジョンを策定する。
- 県民や民間事業者とビジョンを共有し、設置数の拡大と消費者の購買意欲向上を図る。

※EV（電気自動車）、FCV（燃料電池自動車）、PHV（プラグインハイブリッド自動車）

国の動向

- インフラがボトルネックとならないよう、2030年までに急速充電3万基・普通充電12万基及び水素ステーション1000基の整備を目指し設置補助
- 電動化社会構築に向けたインフラ整備（充電インフラ15万基等の実現に向けた取組）の具体化を今後検討

ビジョン（イメージ）

目的	現状と課題	基本方針	整備方針
<ul style="list-style-type: none">整備方針民間投資の呼び込み官民連携	<ul style="list-style-type: none">充電器の設置状況充電設備の現状将来予測	<ul style="list-style-type: none">地形地域利用目的に応じた整備の考え方	<ul style="list-style-type: none">整備目標整備箇所マップ

（スケジュール）

2022年

5月～6月	現状調査
9月	素案策定
12月	パブコメ案策定
3月	最終案（決定）